

ゴマオカタニシ

学名 *Georissa japonica* Pilsbry

目名

目名学名

科名 ゴマオカタニシ科

科名学名 Hydrocenidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

森林の伐採や道路の新設などにより生息環境の悪化が認められる

県内分布	中津市、安岐町、院内町、野津町、津久見市、佐伯市、弥生町、本匠村、上浦町、別府市
分布域	本州、四国、九州、琉球列島、台湾、朝鮮半島
世界的分布	
生息環境	森林の落葉中や石の下などで生育
現 状	県南の石灰岩地帯で見かけていたが個体数は少ない
備 考	殻高約 2.2mm、殻径約 1.5mm 円錐形・殻表には体層で10本の螺肋があり縫合はくびれる。透明な蓋がある

ベニゴマオカタニシ

学名 *Georissa shikokuensis* Amano

目名

目名学名

科名 ゴマオカタニシ科

科名学名 Hydrocenidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



[選定理由]

森林の伐採や乾燥化、道路の新設などにより生息環境の悪化が認められる

県内分布	野津町、三重町、臼杵市、津久見市、佐伯市、弥生町、本匠村、宇目町
分布域	本州、四国、九州の石灰岩地
世界的分布	
生息環境	石灰岩の小石の下や岩壁の表面に生息
現 状	県南の石灰岩地帯で群棲していたが最近は個体数が少ない
備 考	殻高約 2.2mm、殻径約 1.5mm、円錐形で殻表は滑らかで殻色は赤い

ヒロクチカノコガイ

学名 *Neritina (Dostia) violacea* (Gmelin)

目名

目名学名

科名 アマオブネガイ科

科名学名 Neritidae

カテゴリー 大分県: I B (EN)

環境省: II (VU)

水産庁: 希少種



【選定理由】

国内・県内ともに生息地は少ない。河口の汽水域に生息するが、開発や水質汚染などのために生息条件が著しく悪化している。

県内分布	中津市, 宇佐市, 豊後高田市, 真玉町
分布域	本州(東京湾以西), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分), 沖縄 中国南部, インド, 太平洋域
世界的分布	
生息環境	汽水域の止水中や小石混じりの砂泥上, 捨て石, コンクリート護岸。
現 状	希に群生していることもあるが, 通常は個体数が少なく消滅寸前といえる生息地もある。
備 考	WWFの指定ランク: 絶滅寸前

ヒナユキスズメガイ

学名 Phenacolepas sp.

目名

目名学名

科名 ユキスズメガイ科

科名学名 Phenacolepadidae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： 準 (NT) 水産庁：



[選定理由]

全国的に分布地は極めて少なく、生息地は狭い区域に局限される。開発や水質汚染などで個体数が危機的状態にまで減少している。

県内分布	真玉町, 日出町
分布域	本州(愛知・山口), 九州(大分)
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原近くの泥地で、半ば埋もれた石の裏面。
現 状	汽水域のヨシ原近くの泥地で、半ば埋もれた石の裏面。特殊な環境に適応して生息しているため、埋め立てや河川の改修などのために、生息地が少なくなっている。
備 考	本種は未記載種。WWFの指定ランク: 危険

ミヤコドリガイ

学名 *Cinnalepeta pulchella* (Lischke)

目名

目名学名

科名 ユキスズメガイ科

科名学名 *Phenacolepadidae*

カテゴリー 大分県: I A (CR)

環境省: 準 (NT)

水産庁:



[選定理由]

全国的に生息地は局限される。本県でも生息地は極めて希で個体数は少ない。開発や水質汚染などで、危機的水準にまで個体数が減少している。

県内分布	日出町
分布域	本州(房総・男鹿半島以西), 四国, 九州(大分)
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原近くの泥地で、半ば埋もれた石の裏面。
現 状	特殊な環境に適応して生息しているので、埋め立てや河川の改修などのために、生息適地が少なくなっている。
備 考	WWFの指定ランク: 危険

ヤマキサゴ

学名 *Waldemaria japonica* (A.Adams)

目名

目名学名

科名 ヤマキサゴ科

科名学名 Helicinidae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし 水産庁：



【選定理由】

本州と四国に広く分布域をもつが、九州では分布地が少なく、本県では山地に生息する。樹木の伐採で生息地・個体数ともに減少傾向にある。

県内分布	山国町, 耶馬溪町, 竹田市, 宇目町
分布域	本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	山地の自然林内で落ち葉の下や朽ち木。
現状	自然林の減少によって生息地が少なくなり, かつてのような群生地はみられない。
備考	殻高8.8mm、殻径12.4mm、淡黄赤褐色

オナガラムシオイガイ

学名 *Chamalycaeus takahashii* Habe

目名

目名学名

科名 ムシオイガイ科

科名学名 Alycaeidae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I (CR+EN) 水産庁：



[選定理由]

本県南部の石灰岩地域だけに分布する固有種である。採取や開発などのため、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	臼杵市, 野津町, 津久見市, 本匠村, 佐伯市
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生息環境	石灰岩地の凹地や礫の間, 落ち葉の下。
現 状	人による採取や観光施設の整備などにより, 個体数が減少している。
備 考	県南部の石灰岩地域固有種。模式標本産地[本匠村小半鍾乳洞]

タカチホムシオイ

学名 *Chamalycaeus nishii* Minato

目名

目名学名

科名 ムシオイガイ科

科名学名 Alycaedae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 準 (NT) 水産庁:



[選定理由]

自然林伐採や乾燥化での環境悪化が認められる

県内分布	臼杵市
分布域	宮崎県北部、大分県南部、熊本県中部の石灰岩地帯
世界的分布	
生息環境	石灰岩の礫のある場所に生息
現 状	津久見市の生息地では乾燥化が激しく生息個体の確認はできなかった
備 考	殻径 4.4mm 低円錐形頸部の中ほどに弱い膨らみがある

サツمامシオイ

学名 *Chamalycaeus satsumanus* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 ムシオイガイ科

科名学名 Alycaedae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



【選定理由】

生息範囲は広いが局所的で森林伐採や耕作地への転換などで生息上の打撃を受けている

県内分布	大分市、臼杵市、津久見市、佐伯市、本匠村、宇目町、上浦町、蒲江町、清川村
分布域	四国、九州(屋久島、種子島)
世界的分布	
生息環境	森林内の落葉下やガレ場に生息する
現 状	県南部の広い範囲に生息し小型のために発見されにくく、逆に生存率が高い
備 考	殻径 4.3mm 殻表に螺条脈を巡らす。殻色は淡い赤褐色や青味がかった白色

マルタニシ

学名 *Cipangopaludina chinensis laeta* (Martens)

目名

目名学名

科名 タニシ科

科名学名 Viviparidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

米作りの田んぼが管理方法の変化で生息環境に大打撃を受けている

県内分布	大分市、野津原町、宇目町
分布域	北海道から沖縄
世界的分布	
生息環境	水田や湿地、水路や小川に生息
現状	田んぼの管理方法が変わったせい大分市では生息個体の確認ができはい
備考	殻高 45mm 螺層は膨らみ縫合は深い。殻色は黒褐色から緑褐色の殻皮がある

オオタニシ

学名 *Cipangopaludina japonica* (Martens)

目名

目名学名

科名 タニシ科

科名学名 Viviparidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

河川や用水路では水質の悪化のため生息を確認できていない

県内分布	大分市
分布域	北海道から九州
世界的分布	
生息環境	河川・用水路・ため池・湖沼などに生息
現 状	広い赤迫の池の深場で発見され池干しの時しか生息の確認ができない
備 考	殻高 75mm まで成長し螺層は膨れず体層の周縁部は角張る

オオウエゴマガイ

学名 *Diplommatina (Sinica) labiosa tenuiplica* Pilsbry

目名

目名学名

科名 ゴマガイ科

科名学名 *Diplommatinidae*

カテゴリー 大分県：準 (NT)

環境省：II (VU)

水産庁：



【選定理由】

本州西部と九州の北部に分布域をもつ。本県では北部と西部に分布する。自然林の減少により生息地が徐々に失われている。

県内分布	本耶馬溪町, 日田市, 前津江村, 安岐町
分布域	本州(西部), 九州(福岡・大分)
世界的分布	
生息環境	山間部林内の落ち葉の下。
現 状	樹木の伐採や林道の開設で、生息地の一部が失われ個体数が減少している。
備 考	殻高4.4mm、殻径2.2mm、長い紡錘形

アキヨシミジンツボ

学名 *Akiyoshia uenoi* Kuroda & Habe

目名

目名学名

科名 ミズツボ科

科名学名 Hydrobiidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



[選定理由]

観光洞として開発され洞内の環境が激変し、絶滅の危機に瀕している。

県内分布	野津町風連鍾乳洞
分布域	山口県秋芳洞
世界的分布	
生息環境	洞窟内の地下水中で安定した石の側面で生息
現 状	観光洞内の歩道が生息場所に脅威を与えている。
備 考	殻高 1.7mm 殻は半透明乳白色で洞穴内で生息している。

ホラアナミジンナ

学名 *Bythinella (Moria) nipponica* Mori

目名

目名学名

科名 ミズツボ科

科名学名 Hydrobiidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



[選定理由]

九州での分布域は比較的に広く、本県では北部と南部に分布する。河川上流域の開発のために、環境が悪化して個体数が減少している。

県内分布	山国町, 大山町, 弥生町, 宇目町
分布域	本州(山口), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	山間部の小さな溪流で礫や落ち葉に着生。
現状	土砂による埋没や濁水のために、多くの溪流で生息の確認が難しくなっている。
備考	殻高 1.7mm 殻は半透明乳白色で洞穴の外で生息

ヒメマルマメタニシ

学名 *Gabbia kiusiuensis* (.Hirase)

目名

目名学名

科名 エゾマメタニシ科

科名学名 Bithyniidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



[選定理由]

本州の兵庫以西に分布域をもつが、生息地は少なく、本県でも生息地は局限される。圃場整備や水田の干出による乾燥化などで、生息環境が悪化している。

県内分布	宇佐市, 大分市、庄内町、
分布域	本州(兵庫以西), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)朝鮮半島
世界的分布	
生息環境	イネの切り株や水路の周辺, 休耕田。
現 状	水田や周辺の水路の乾燥化などで, 個体数が減少傾向にある。
備 考	殻高 6.2mm, 殻径 4mm、殻は半透明乳白色

オンセンミズゴマツボ

学名 *Stenothyra thermaecota* Kuroda

目名

目名学名

科名 ミズゴマツボ科

科名学名 *Stenothyridae*

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I (CR+EN) 水産庁:



[選定理由]

本県のみ分布域をもち、生息地は局限される。生息域が観光地であるため、絶滅の危機に瀕している。

県内分布	湯布院町
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生息環境	湯口から流れ出る温泉水の水路の壁面。
現 状	数か所の温泉地に分布していたが、模式産地などでは既に絶滅して、現在では僅かな範囲に生息している。
備 考	模式標本産地[九重町宝泉寺温泉]・指定希少野生動植物

ワカウラツボ

学名 *Iravadia (Fairbankia) sakaguchii* (Kuroda et Habe)

目名

目名学名

科名 カワグチツボ科

科名学名 *Iravadiidae*

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU) 水産庁:



【選定理由】

全国的に分布地は少ない。開発や水質汚染による環境の悪化で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津市, 宇佐市, 豊後高田市, 真玉町, 杵築市
分布域	本州(三河湾, 紀伊西部), 瀬戸内海, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原近くの泥地で、半ば埋もれた石の裏面や他の動物の生息穴。
現 状	特殊な環境に適応して生息しているので、埋め立てや河川の改修などのために、生息適地が少なくなっている。
備 考	WWFの指定ランク: 絶滅寸前

カワグチツボ

学名 *Iravadia elegantula* (A.Adams)

目名

目名学名

科名 カワグチツボ科

科名学名 *Iravadiidae*

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

河口域の泥干潟に流入する放水路の水質悪化で生息環境が打撃を受けている

県内分布	大分市、杵築市、中津市
分布域	東北地方以南、東京湾、山陰中部～九州
世界的分布	
生息環境	内湾汽水域で潮間帯の泥干潟
現 状	大在クリークの泥干潟では多数の生息個体が確認できた
備 考	殻高 4mm 体層は太く縫合はくびれる、殻表に微細な螺脈がある、殻皮は黄褐色

ツブカワザンショウガイ

学名 *Assiminea estuarina* Habe

目名

目名学名

科名 カワザンショウガイ科

科名学名 *Assimineidae*

カテゴリー 大分県: IB(EN)

環境省: 掲載なし

水産庁:



[選定理由]

全国的に分布地が少なく、本県でも生息地は局限される。開発や水質汚染のために、環境が著しく悪化して絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日出町, 別府市, 大分市
分布域	本州(三河湾以西), 四国, 九州(福岡・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	河口干潟の高潮帯にある転石地の礫の間。
現状	河川の改修や埋め立てなどによって生息地が失われ, いずれの河川でも個体数が減少している。
備考	WWFの指定ランク:危険

ヨシダカワザンショウガイ

学名 *Angustassiminea yoshidayukioi* (Kuroda)

目名

目名学名

科名 カワザンショウガイ科

科名学名 Assimineidae

カテゴリー 大分県: I B (EN)

環境省: II (VU)

水産庁:



[選定理由]

全国的に分布地が少なく、本県でも生息地は局限される。開発や水質汚染のために、環境が著しく悪化して絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	宇佐市, 日出町, 大分市
分布域	本州(静岡以西), 四国, 九州(佐賀・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	河口干潟の高潮帯にある転石地の礫の間。
現状	河川の改修や埋め立てなどによって生息地が失われ、いずれの河川でも個体数が減少している。
備考	WWFの指定ランク: 危険

ムシヤドリカワザンショウガイ

学名 *Assiminea parasitologica* Kuroda

目名

目名学名

科名 カワザンショウガイ科

科名学名 Assimineidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：準 (NT)

水産庁：



[選定理由]

全国的に分布地が少なく、本県でも生息地は局限される。開発や水質汚染のために、環境が著しく悪化して生息地の減少が懸念される。

県内分布	中津市, 宇佐市, 真玉町, 杵築市, 大分市, 臼杵市
分布域	本州(静岡, 兵庫以西), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	河口干潟の高潮帯にある転石地の礫の間。
現 状	河川の改修や埋め立てなどによって生息地が失われ、いずれの河川でも個体数が減少している。
備 考	WWFの指定ランク:危険

タケノコカワニナ

学名 *Stenomelania rufescens* (Martens)

目名

目名学名

科名 トウガタカワニナ科

科名学名 Thiaridae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU) 水産庁:



【選定理由】

房総以西に分布域をもつが、本県ではごく少数の河川に生息している。植生の自然遷移や護岸工事などのため、環境が悪化して絶滅の危機に瀕している。

県内分布	別府市, 臼杵市, 佐伯市, 大分市
分布域	本州(房総以南), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	汽水域の小石混じりの砂泥地。
現 状	上流の護岸工事の影響や、生息地がヨシ原に自然遷移するなどして、各河川では生息環境が極めて悪化している。
備 考	WWFの指定ランク: 絶滅寸前

イボウミニナ

学名 *Batillaria zonalis* (Bruguère)

目名

目名学名

科名 ウミニナ科

科名学名 Batillariidae

カテゴリー 大分県: II (VU)

環境省: II (VU)

水産庁:



[選定理由]

河口域の水質悪化で生息環境が打撃を受け生息数が激減している

県内分布	佐伯市、杵築市
分布域	北海道南部、山口県北部、日本各地、奄美、沖縄
世界的分布	
生息環境	内湾汽水域で潮間帯の泥干潟
現 状	ウミニナと同所的だが個体数は少ない
備 考	殻高 40mm 位で殻頂は尖る、殻口外唇の肩が張り出す

センベイヤワモチ

学名 Platevindex sp.

目名

目名学名

科名 ドロアワモチ科

科名学名 Onchidiidae

カテゴリー 大分県: I B (EN) 環境省: I (CR+EN) 水産庁:



【選定理由】

国内の分布域は狭く、本県でも生息地は局限される。開発や水質汚染のために環境が著しく悪化して、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	宇佐市, 真玉町, 杵築市, 日出町
分布域	本州(山口), 九州(佐賀・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原に近い泥地で、半ば埋もれた石の裏面や、護岸ブロックの隙間。
現 状	特殊な環境に適応して生息しているので、埋め立てや河川の改修などのために、生息適地が少なくなっている。
備 考	本種は未記載種。WWFの指定ランク: 絶滅寸前

オカミミガイ

学名 *Ellobium chinense* (Pfeiffer)

目名

目名学名

科名 オカミミガイ科

科名学名 *Ellobiidae*

カテゴリー 大分県: I B (EN)

環境省: II (VU)

水産庁: 危急種



【選定理由】

国内の生息地は干潟の埋め立てにより多くが失われた。本県でも開発や水質汚染で、生息環境が著しく悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津市, 宇佐市, 真玉町, 杵築市, 日出町, 別府市, 大分市
分布域	本州(東京湾・伊勢湾), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分), 奄美, 沖縄 台湾
世界的分布	
生息環境	汽水域に生育するヨシ原の泥上や漂着物の下。
現 状	住宅地に近い生息地では, ヨシ原の荒廃によって絶滅寸前になっている所がある。
備 考	WWFの指定ランク: 危険

ナラビオカミミガイ

学名 *Auriculastra duplicata* (Pfeiffer)

目名

目名学名

科名 オカミミガイ科

科名学名 *Ellobiidae*

カテゴリー 大分県: I B (EN)

環境省: II (VU)

水産庁:



[選定理由]

本州西部以南に分布域をもつが分布地は局限される。本県でも生息地は少ない。開発や水質汚染などで環境が悪化して、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津市, 宇佐市, 杵築市, 日出町, 別府市
分布域	本州(山口), 四国, 九州(福岡・佐賀・大分), 沖縄 中国
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原で, 泥に埋もれた石や漂着物の下。
現 状	干潟の減少によって生息適地が少なくなり, 現在では僅かな河川に生息している。
備 考	WWFの指定ランク:危険

キヌカツギハマシイノミガイ

学名 *Melampus (Melampus) sincaporensis* Pfeiffer

目名

目名学名

科名 オカミミガイ科

科名学名 Ellobiidae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU) 水産庁:



【選定理由】

伊勢湾以西に分布域をもつが、分布地は少なく、本県でも生息地は局限される。開発や水質汚染などで環境が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津市, 宇佐市, 真玉町, 杵築市, 日出町, 別府市, 大分市
分布域	本州(伊勢湾以西), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分), 種子島, 奄美大島, 西表島
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原で、泥に埋もれた石や漂着物の下。
現状	干潟の減少によって生息適地が少なくなり、現在では僅かな河川に生息しているにすぎない。
備考	WWFの指定ランク:危険

クリイロコミミガイ

学名 *Laemodonta siamensis* (Morelet)

目名

目名学名

科名 オカミミガイ科

科名学名 Ellobiidae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: I (CR+EN) 水産庁:



【選定理由】

国内・県内ともに分布地が少なく局限される。開発や水質汚染のために生息条件が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津市, 宇佐市, 真玉町, 杵築市, 日出町, 別府市
分布域	本州(三河湾以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島), 沖縄
世界的分布	
生息環境	汽水域のヨシ原で, 泥に埋もれた石や漂着物の下。
現状	干潟の減少によって生息適地が少なくなり, 現在では僅かな河川に生息しているにすぎない。
備考	WWFの指定ランク:危険

ウスコミミガイ

学名	Laemodonta exaratooides Kuroda(MS)		
目名			
目名学名			
科名	オカミミガイ科		
科名学名	Ellobiidae		
カテゴリー	大分県: IB(EN)	環境省: 準(NT)	水産庁:



【選定理由】

三河湾や山口に分布域をもつが分布地は少なく、本県の生息地は局限される。開発や水質汚染のために環境が悪化して、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日出町
分布域	本州(三河湾・山口), 四国, 九州(佐賀・熊本・大分), 沖縄 朝鮮半島
世界的分布	
生息環境	汽水域の高潮帯で、転石の間や泥に埋もれた石の下。
現 状	干潟の減少によって生息適地が少なくなり、現在では僅かな河川に生息しているにすぎない。
備 考	WWFの指定ランク:危険

ナギサノシタタリ

学名 *Microtaralia acuteocinoides* Kuroda et Habe, in Habe

目名

目名学名

科名 オカミミガイ科

科名学名 Ellobiidae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT) 水産庁：



[選定理由]

渚が道路で切断され生息域が激減した生息数の確認も困難である

県内分布	佐伯市(屋形島・楠本・西野浦)
分布域	北海道、岩手県、四国、山口北部、瀬戸内海西部、九州
世界的分布	
生息環境	海浜部や河口の潮上帯の岩礫下に生息
現 状	蒲江楠本・西野浦では良い環境が保たれており生息個体が確認できた
備 考	殻高 4.5mm 卵円形、殻表は平滑で光沢があり半透明白色